

速報データを使用しているため今後修正されることがあります。

平成26年10月台風18号 江戸川出水速報（第1報）

1. 気象概要
2. 出水概要
3. 事務所の体制等
4. 江戸川河川事務所の取り組み
5. 管内浸水状況(内水)



吉川橋付近出水状況



綾瀬川松原大橋付近出水状況

国土交通省 関東地方整備局 江戸川河川事務所

概 要

利根川水系**中川**では、吉川水位観測所(埼玉県吉川市平沼地先)で、
はん濫注意水位を超えた。

利根川水系**坂川**では、大谷口新田水位観測所(千葉県松戸市新松戸地先)で、
水防団待機水位を超えた。

利根川水系**綾瀬川**では、谷古宇水位観測所(埼玉県草加市松江地先)で、
はん濫注意水位を超えた。

平成26年9月29日15時にトラック諸島近海で発生した台風第18号は、強い勢力のまま6日8時過ぎに浜松市付近に上陸し、その後も速度を速めて北東へ進み、関東地方を横断、10時に横浜市付近、11時にかすみがうら市付近、12時には日立市の東約60Kmに達しました。

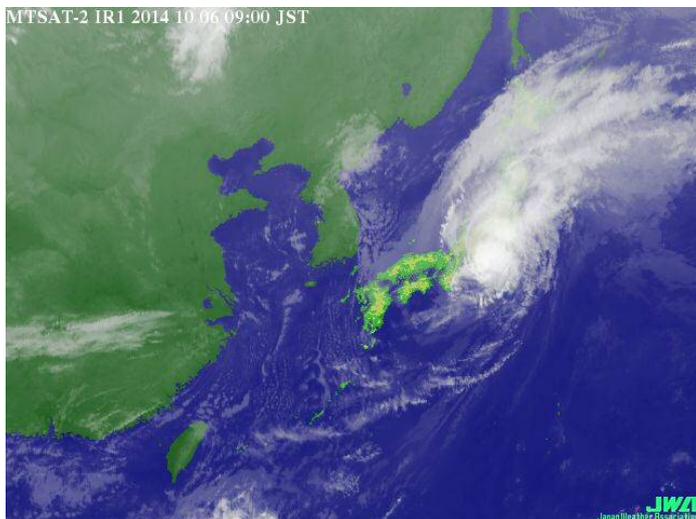
停滞前線や台風の東側あった発達した雨雲によって、10月5日から6日は関東地方や東海地方を中心に記録的な大雨となり、24時間雨量の日最大値では、神奈川県横浜で310ミリ、海老名で333ミリを観測し、観測史上1位を記録しました。

中川、綾瀬川流域では、10月5日の5時頃から6日13時頃まで降雨が続き、中川流域での累加雨量が200.7ミリ、綾瀬川流域での累加雨量が219.6ミリとなりました。

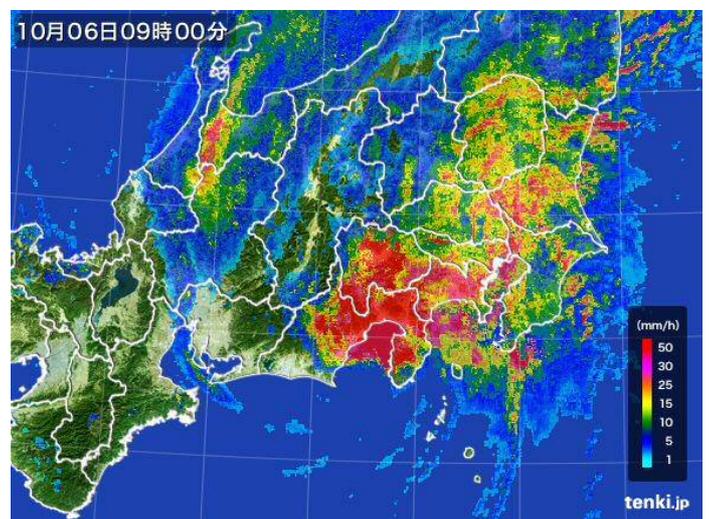
中川の吉川水位観測所及び綾瀬川の谷古宇水位観測所では「はん濫注意水位」を超える出水となり、坂川の大谷口新田水位観測所では水防団待機水位を超える出水となりました。

このため、江戸川河川事務所では、首都圏外郭放水路、綾瀬川放水路、三郷放水路及び坂川で、各排水機場を稼働し、洪水のはん濫を防ぎました。

6日9時 気象衛星 (日本気象協会より)



6日9時 レーダー図 (日本気象協会より)



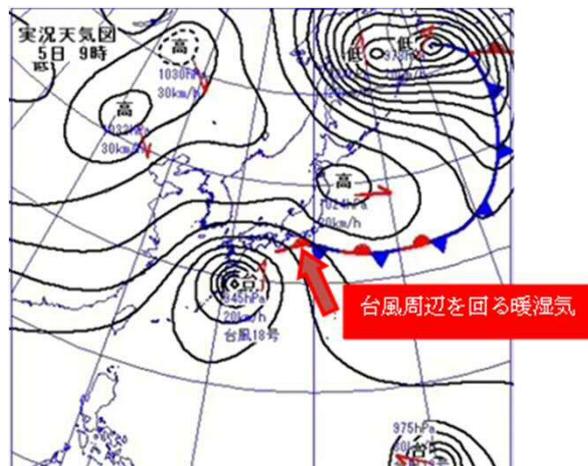
1. 気象概要

雨の状況

右の図は5日9時の地上天気図を表しています。

台風第18号の接近に伴い、本州の南海上に停滞していた前線が北上し、東日本を中心に掛かりました。この前線に向かって台風周辺を回る暖かく湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発となりました。

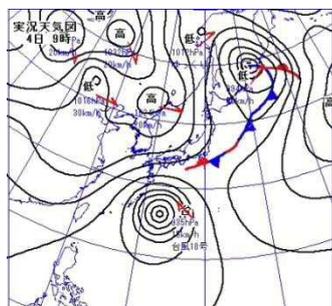
このため、5日の日中からは東海から関東地方で全般に雨となり、次第に雨脚が強まりました。



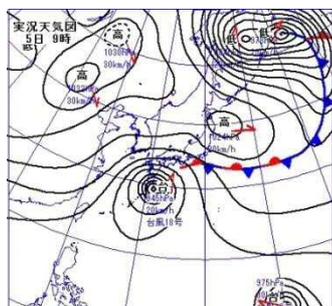
2014年10月5日9時



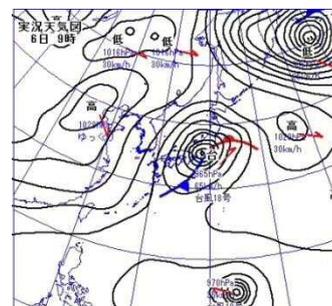
3日9時 地上天気図



4日9時 地上天気図



5日9時 地上天気図



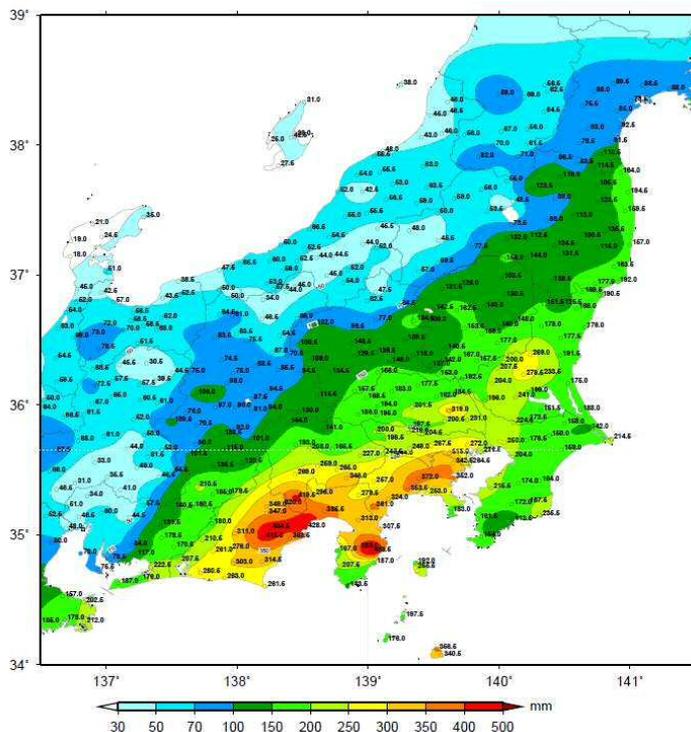
6日9時 地上天気図

右の図は、10月4日15時から6日15時まで、アメダスで観測された累加降水量の分布図です。

静岡県や伊豆半島で2日間の雨量が400ミリを超える地点があり、神奈川県でも350ミリに達する地点が出ています。

今回の雨の分布を見ると、台風の中心付近に非常に激しい雨をもたらした雨域があり、中心が通過した静岡県南部から関東南部が特に多くなっています。

中川流域では累加雨量が200.4ミリ、綾瀬川流域では218.9ミリとなり、中川及び綾瀬川で【はん濫注意水位】を超える出水となりました。



4日15時から6日15時まで、アメダスで観測された累加降水量の分布図(日本気象協会より)

2. 出水概要

江戸川河川事務所管内 水位観測所位置図



※速報値により 今後修正の場合があります

水防警報基準地点 洪水別最高水位 (m)

河川名	観測所名	S10.9.26	S22.9.16 カスリーン 台風	S41.6.29 台風4号	S44.8.22 台風9号	H3.9.19 台風18号	H26.6.6 低気圧	H26.10.6 台風18号	設定水位				
									水防団 待機水位	はんらん 注意水位	避難 判断 水位	はんらん 危険水位	計画高 水位
江戸川	西関宿	—	<u>8.93</u>	—	—	5.57	2.08	3.14	4.50	6.10	8.20	8.50	9.12
	野田	—	<u>8.37</u>	—	—	5.73	3.49	4.20	4.60	6.30	8.60	8.90	9.34
	松戸	<u>6.85</u>	6.67	—	—	4.51	3.78	3.83	4.00	5.70	—	—	8.13
中川	吉川	—	—	<u>4.39</u>	—	4.12	3.71	<u>3.77</u>	3.30	3.60	3.80	4.10	4.75
	高砂	—	—	2.43	<u>3.36</u>	2.67	2.10	2.56	2.40	2.70	—	—	3.41
綾瀬川	谷古宇	—	—	3.98	—	<u>4.01</u>	2.81	<u>3.00</u>	2.70	3.00	3.60	3.90	4.10
坂川	大谷口新田	—	—	—	—	<u>4.13</u>	2.91	<u>2.70</u>	2.70	3.20	3.70	4.10	4.19

— 下線は既往最大観測値

出水状況(中川・綾瀬川)



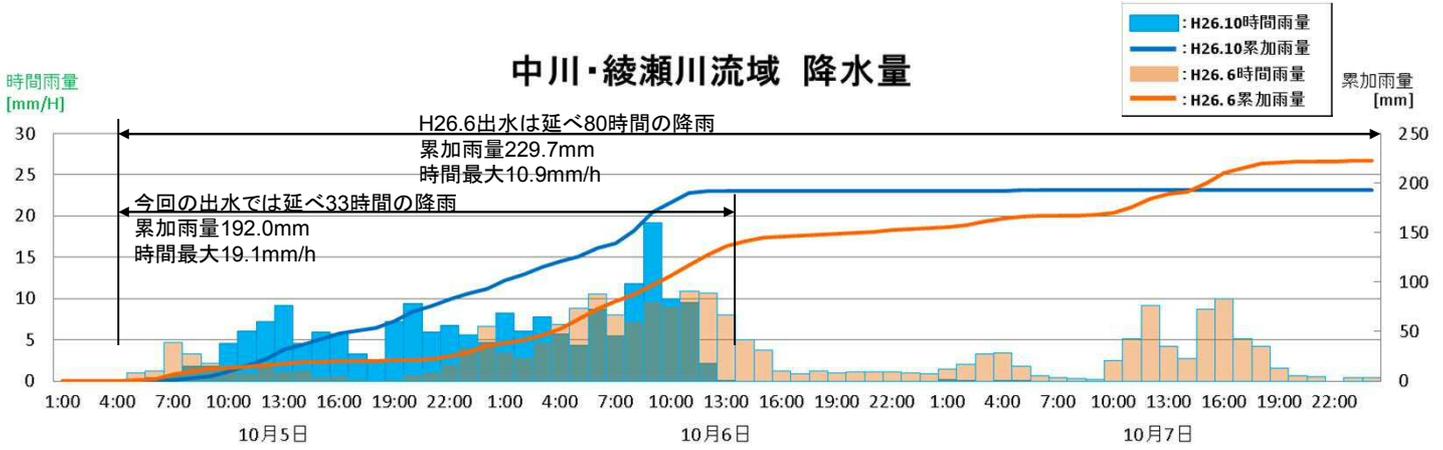
中川 吉川水位観測所 吉川橋付近 30.6K



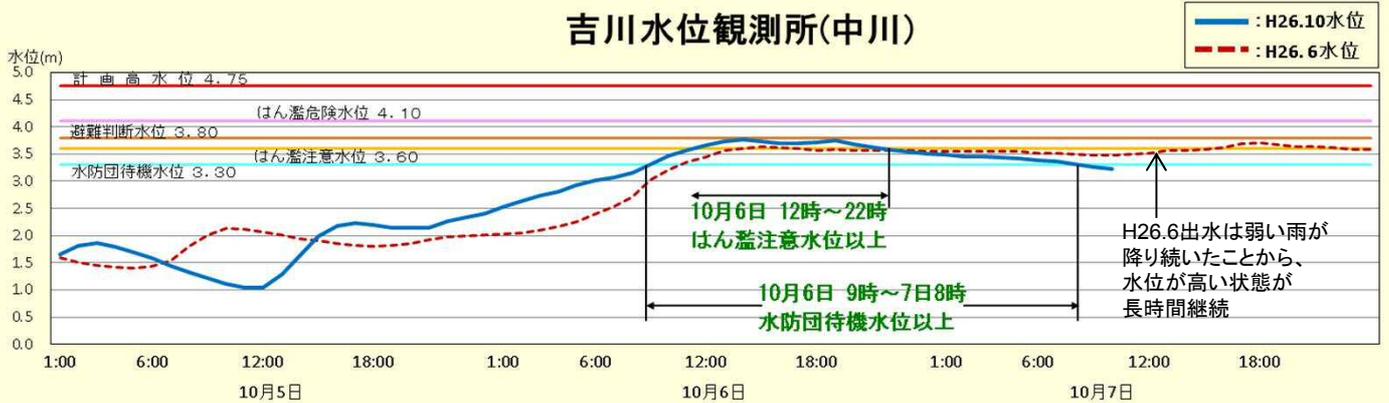
綾瀬川 谷古宇水位観測所付近 14.4K

雨量・水位状況図(中川・綾瀬川)

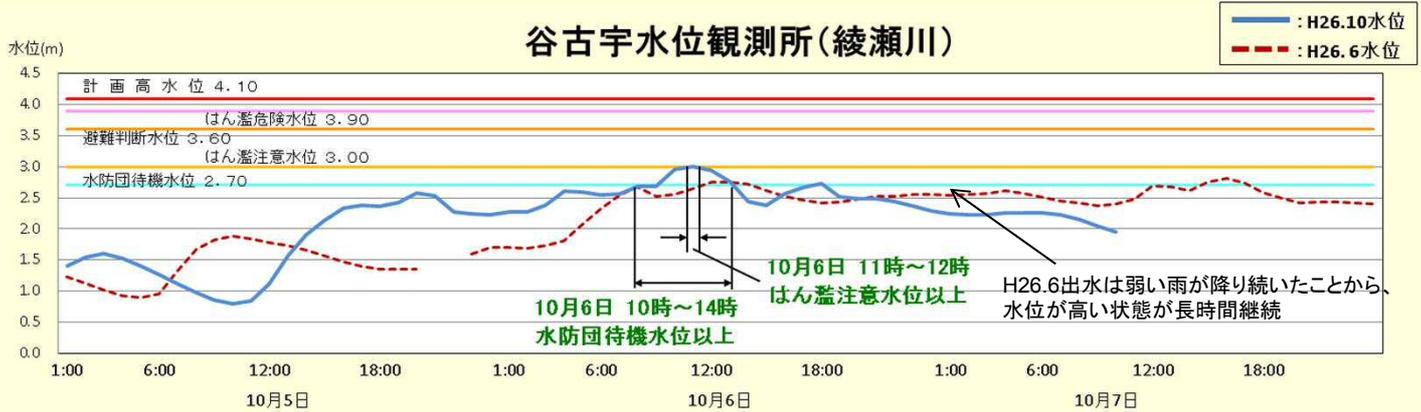
※速報値により
今後修正の場合があります



※H26.6の降雨は、降り始めの時間を合わせて表示しています



※H26.6の水位は、中川流域降水量と時間を合わせて表示しています



※H26.6の水位は、中川流域降水量と時間を合わせて表示しています

中川・綾瀬川流域では、断続的に雨が降り続いたことから、累加雨量が192ミリとなり、吉川水位観測所及び谷古宇水位観測所においてはん濫注意水位を超過した。

3. 江戸川河川事務所の体制

(1) 江戸川河川事務所の洪水対策支部体制

体制の経過

日付	時刻	支部体制
10月6日	4:50	注意体制
10月6日	10:30	警戒体制
10月6日	21:30	注意体制
10月7日	8:10	解除

10月6日4時50分より注意体制に入り、江戸川・中川・綾瀬川流域の降雨状況、江戸川・中川・綾瀬川水位状況を監視し、洪水に備えました。

中川・綾瀬川の水位を下げるため首都圏外郭放水路、三郷放水路、八潮排水機場、綾瀬川放水路の各排水機場を稼働しました。

坂川では、本川からの逆流を防止するため水門を閉め、松戸排水機場を稼働しました。

(2) 水防警報

洪水によって災害が起こる恐れがある江戸川河川事務所所管の河川において、水防警報を発表し、水防管理団体に対して水防活動を行う必要がある旨を通知しました。

河川名	基準観測所	警報種別	発令日時	
江戸川	西関宿	-	-	-
	野田	-	-	-
	松戸	-	-	-
中川	吉川	待機	10月6日	8:30
		出動	10月6日	10:30
		解除	10月6日	15:10
	高砂	-	-	-
綾瀬川	谷古宇	待機	10月6日	9:00
		出動	10月6日	11:10
		解除	10月6日	22:00
坂川	大谷口新田	-	-	-
		-	-	-

※ 水防警報は、降雨の状況及び水位の状況、潮位等を勘案して発表しています。

(3) 洪水予報

台風18号の影響により洪水の恐れがあるとして、気象庁と共同して中川及び綾瀬川（谷古宇区間）において洪水予報（はん濫注意情報）を発表しました。

洪水予報の内容は、予測時点から3時間後までの降雨の状況及び水位の上昇量について記載されており、発表と同時に関係自治体宛に周知しました。

予報区域 【基準観測所】	河川名	日時	内容
中川 【吉川水位観測所】	中川	10月6日 11:30	はん濫注意情報発表
		10月6日 22:00	はん濫注意情報解除
綾瀬川（谷古宇区間） 【谷古宇水位観測所】	綾瀬川	10月6日 10:50	はん濫注意情報発表
		10月6日 15:40	はん濫注意情報解除

正規

中川はん濫注意情報

中川洪水予報第1号
洪水注意報（発表）
平成26年10月06日11時30分
江戸川河川事務所 熊谷地方気象台 気象庁予報部 共同発表

（見出し）
中川では、はん濫注意水位（レベル2）に到達、水位はさらに上昇

（主文）
中川の吉川水位観測所（吉川市）では、6日11時10分頃に、はん濫注意水位（レベル2）に達しました。水位はさらに上昇する見込みです。今後の洪水予報に注意してください。

（雨量）
多いところで1時間に20ミリの雨が降っています。
この雨は今後次第に弱まるでしょう。

流域	05日05時00分～06日11時10分までの流域平均雨量	06日11時10分～06日14時までの流域平均雨量の見込み
中川流域	185ミリ	1ミリ

（水位）
中川の水位観測所における水位は次の通りと見込まれます。

観測所名	水位危険度		レベル1	レベル2	レベル3
	水位(m)	又は 流量(m ³ /s)	水防団待機	はん濫注意	避難判断
吉川 水位観測所 (吉川市)	06日11時10分の状況	3.60			
	06日12時10分の予測	3.73			
	06日13時10分の予測	3.83			
	06日14時10分の予測	3.93			

水位のグラフは各水位間を按分したものです。
レベル4については、はん濫危険水位と計画高水位を按分しており、はん濫危険水位=計画高水位の場合が最大となります。

正規

綾瀬川（谷古宇区間）はん濫注意情報

綾瀬川（谷古宇区間）洪水予報第1号
洪水注意報（発表）
平成26年10月06日10時50分
江戸川河川事務所 熊谷地方気象台 気象庁予報部 共同発表

（見出し）
綾瀬川（谷古宇区間）では、はん濫注意水位（レベル2）に到達、水位はさらに上昇

（主文）
綾瀬川の谷古宇水位観測所（草加市）では、6日10時30分頃に、はん濫注意水位（レベル2）に達しました。水位はさらに上昇する見込みです。今後の洪水予報に注意して下さい。

（雨量）
多いところで1時間に25ミリの雨が降っています。
この雨は今後次第に弱まるでしょう。

流域	05日05時00分～06日10時30分までの流域平均雨量	06日10時30分～06日13時30分までの流域平均雨量の見込み
綾瀬川流域	182ミリ	8ミリ

（水位）
綾瀬川（谷古宇区間）の水位観測所における水位は次の通りと見込まれます。

観測所名	水位危険度		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
	水位(m)	又は 流量(m ³ /s)	水防団待機	はん濫注意	避難判断	はん濫危険
谷古宇 水位観測所 (草加市)	06日10時30分の状況	3.03				
	06日11時30分の予測	3.04				
	06日12時30分の予測	3.12				
	06日13時30分の予測	3.22				

水位のグラフは各水位間を按分したものです。
レベル4については、はん濫危険水位と計画高水位を按分しており、はん濫危険水位=計画高水位の場合が最大となります。

4. 江戸川河川事務所の取り組み

江戸川河川事務所管内 排水機場位置図



※速報値により
今後修正の場合があります

(1)排水機場の稼働状況

施設名	施設規模			稼働台数		稼働時間	累積排水量 【50m ³ プール換算値】
	排水量 (m ³ /s)	設置ポンプ		稼働台数	稼働時間 稼働開始時間 稼働終了時間 (延べ稼働時間)		
		容量 (m ³ /s)	台数				
庄和排水機場 (首都圏外郭放水路)	200	50	4	4	開始 6日 8時10分 終了 8日 9時30分 (62.5時間)	約732万m ³ 【約4,880杯分】	
三郷排水機場 (三郷放水路)	200	20	1	1	開始 6日 6時05分 終了 7日 19時10分 (112.2時間)	約1,721万m ³ 【約11,474杯分】	
		30	1	1			
		50	3	3			
伝右川排水機場	15	5	1	1	開始 6日 9時02分 終了 6日 14時00分 (11.5時間)	約20万m ³ 【約130杯分】	
		5	1	1			
		5	1	1			
八潮排水機場 (綾瀬川放水路)	100	25	2	2	開始 6日 9時10分 終了 6日 19時50分 (19.8時間)	約217万m ³ 【約1,448杯分】	
		50	1	1			
松戸排水機場	100	25	2	2	開始 6日 6時50分 終了 7日 13時06分 (15.9時間)	約167万m ³ 【約1,113杯分】	
		50	1	1			
古ヶ崎排水機場	15	7.5	2	2	開始 5日 22時30分 終了 7日 21時59分 (27.3時間)	約74万m ³ 【約493杯分】	
根本排水機場	15	7.5	2	1	開始 6日 8時38分 終了 6日 14時40分 (10.7時間)	約28万m ³ 【約187杯分】	
合計							約2,959万m ³ 【約19,727杯分】

首都圏外郭放水路(第3立坑)



その他機場周辺状況



10月6日15時 三郷排水機場周辺状況



10月6日15時 三郷放水路状況



10月6日11時 第3立孔流入状況(倉松川)



10月6日11時 三郷排水機場周辺状況



10月6日12時 庄和排水機場背後地状況



10月6日11時 八潮水門状況

首都圏外郭放水路の効果

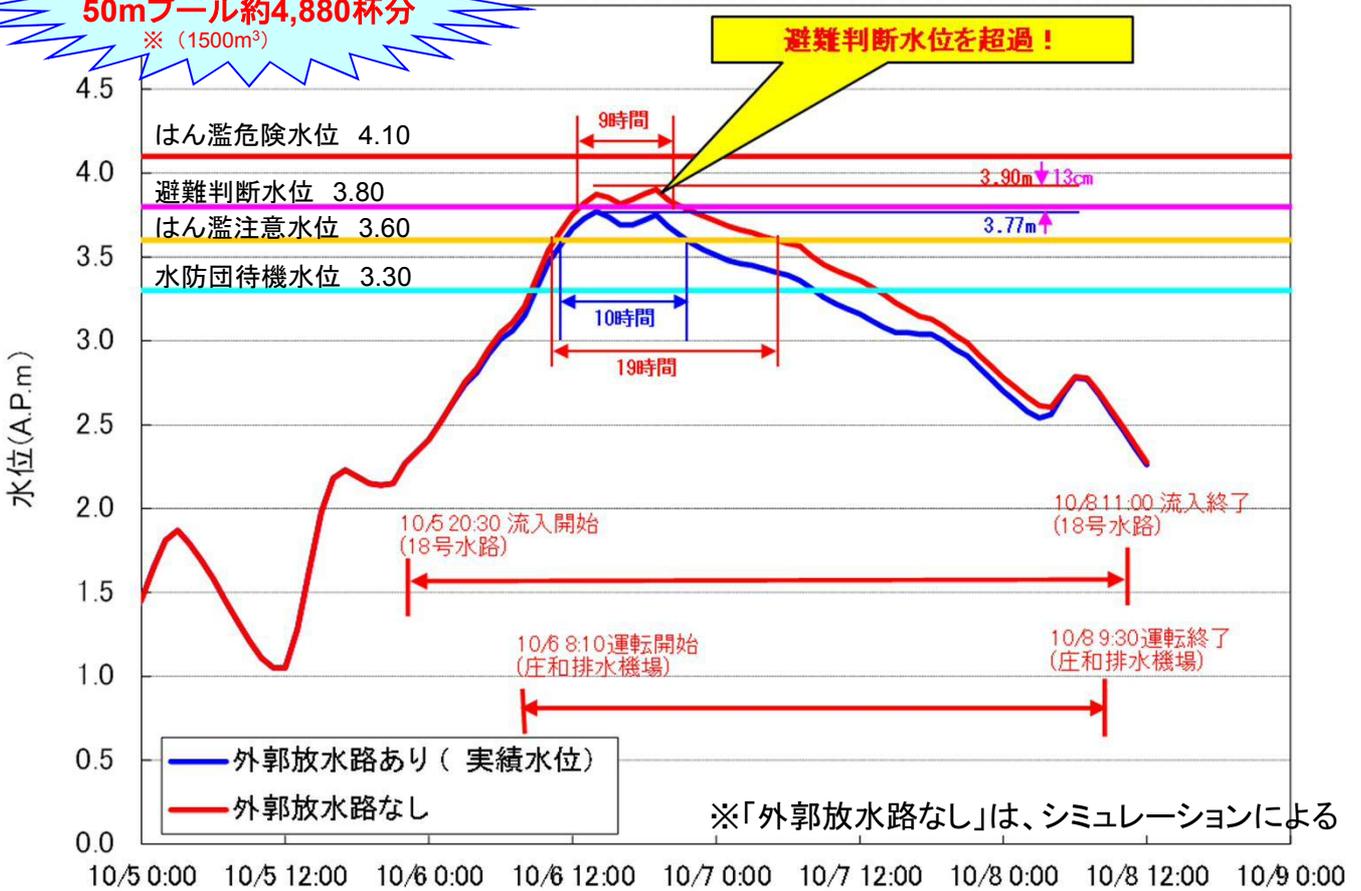
※速報値のため、今後修正の場合があります。

首都圏外郭放水路流入により水位低減・浸水被害軽減

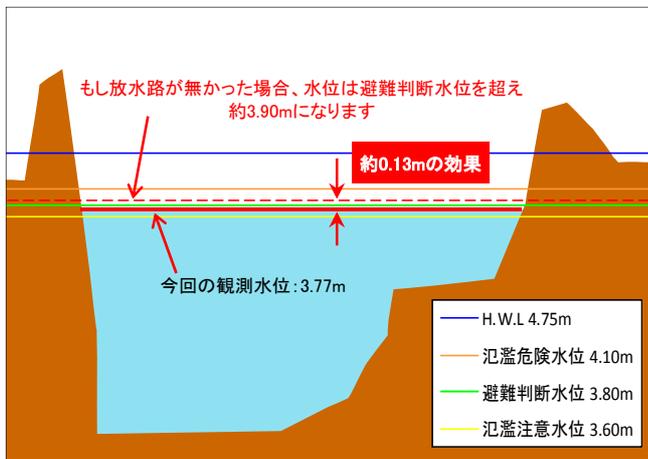
※ 50mプールの容積: $50 \times 25 \times 1.2 = 1500\text{m}^3$

洪水調節総量約732万 m^3
50mプール約4,880杯分
※ (1500 m^3)

吉川水位観測所



中川(吉川地点)の水位低減効果



No.	年月日	洪水名	総流入量	流入時間
1	平成26年06月06日	低気圧	13,426,000 m^3	95時間10分
2	平成20年08月28日	低気圧	11,720,000 m^3	108時間00分
3	平成26年10月06日	台風18号	7,316,000 m^3	62時間30分
4	平成25年10月16日	台風26号	6,848,000 m^3	57時間40分
5	平成16年10月09日	台風22号	6,720,000 m^3	77時間30分
6	平成24年05月03日	低気圧	6,678,000 m^3	62時間28分
7	平成18年12月26日	低気圧	6,621,000 m^3	50時間00分
8	平成18年10月06日	前線降雨	5,104,000 m^3	56時間11分
9	平成23年07月19日	台風6号	4,907,000 m^3	64時間09分
10	平成14年07月09日	台風6号	4,564,000 m^3	69時間44分
11	平成25年09月15日	台風18号	4,475,000 m^3	50時間30分
12	平成16年10月20日	台風23号	4,137,000 m^3	59時間55分
13	平成15年08月15日	前線豪雨	4,081,000 m^3	62時間41分
14	平成23年09月21日	台風15号	3,446,700 m^3	45時間50分
15	平成18年07月17日	梅雨前線	3,431,000 m^3	72時間45分

※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

綾瀬川放水路の効果

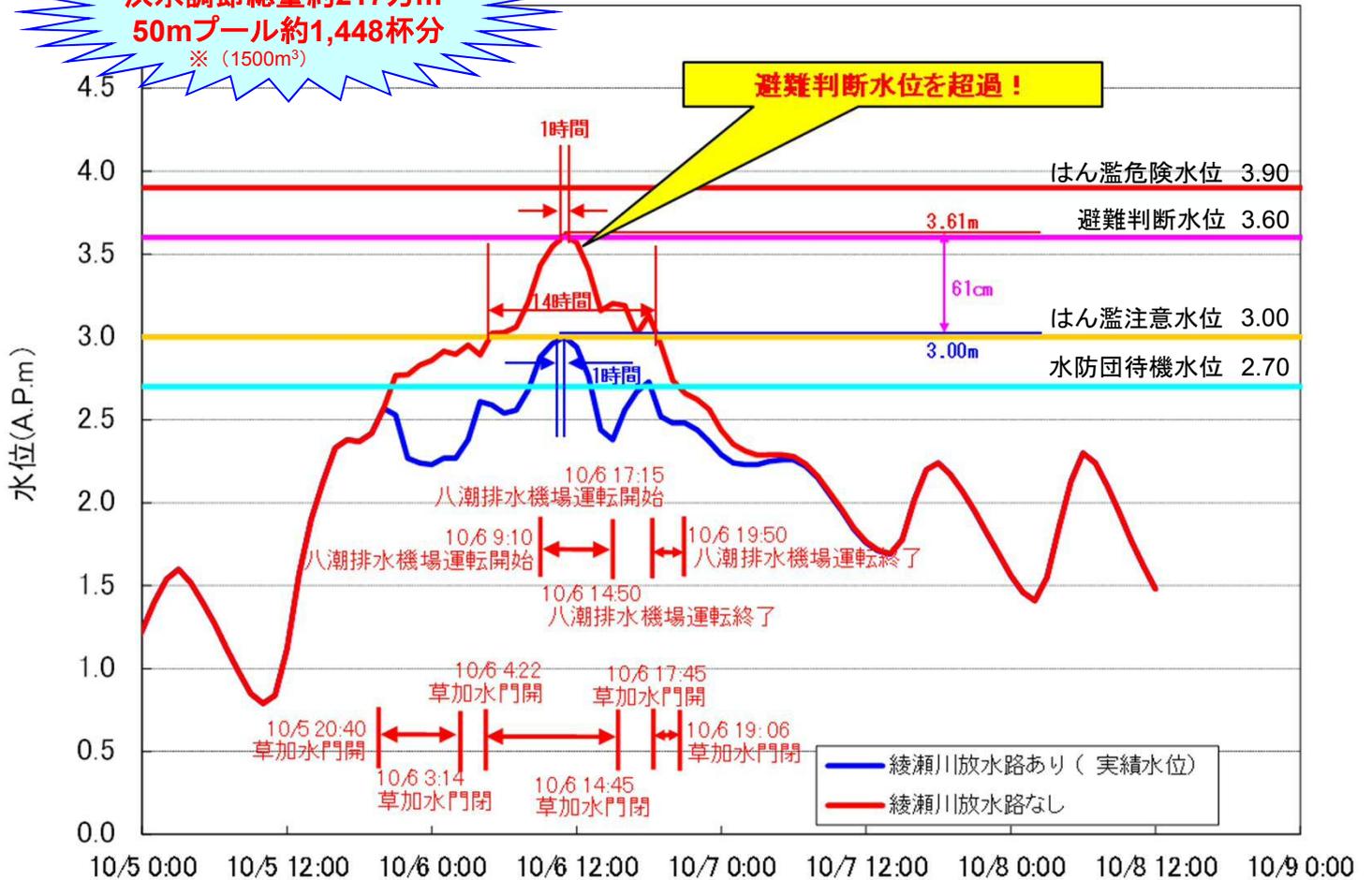
※速報値のため、今後修正の場合があります。

綾瀬川放水路通水により水位低減・浸水被害軽減

※ 50mプールの容積: $50 \times 25 \times 1.2 = 1500\text{m}^3$

谷古宇水位観測所

洪水調節総量約217万 m^3
50mプール約1,448杯分
※ (1500 m^3)



※綾瀬川放水路なしはシミュレーションによる。

三郷放水路の効果

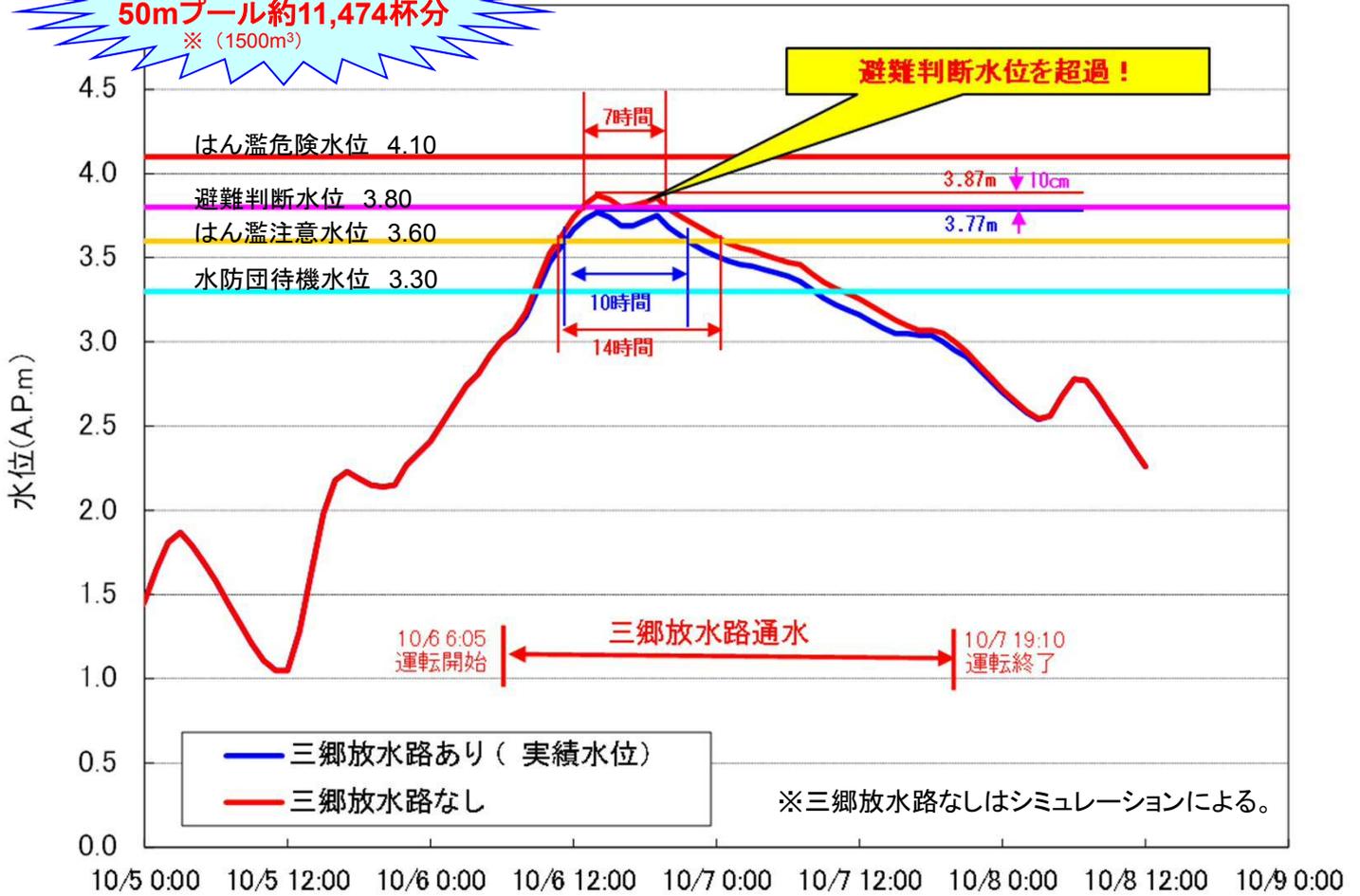
※速報値のため、今後修正の場合があります。

三郷放水路流入により水位低減・浸水被害軽減

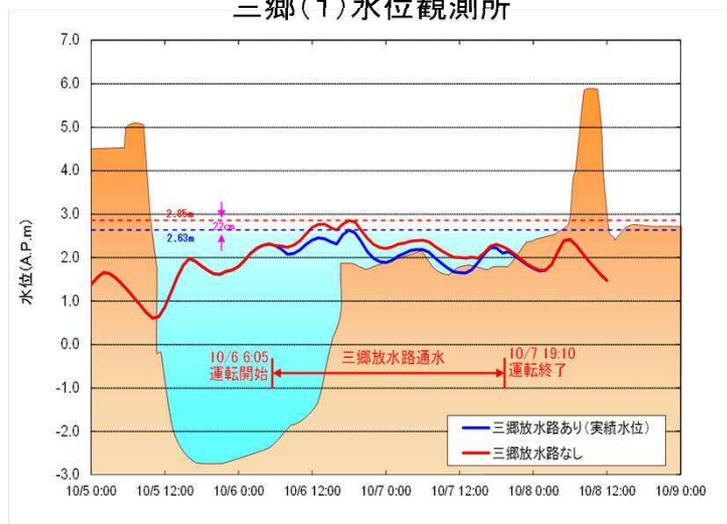
※ 50mプールの容積: $50 \times 25 \times 1.2 = 1500\text{m}^3$

洪水調節総量約1,721万 m^3
 50mプール約11,474杯分
 ※ (1500 m^3)

吉川水位観測所



三郷(1)水位観測所



(2)HPによる情報提供

江戸川河川事務所では、ホームページにより出水(洪水)時の各種情報提供を実施しています。

The screenshot displays the homepage of the Edogawa River Office, which is part of the Kanto Regional Office of the Ministry of Land, Infrastructure, and Transport. The page is titled "江戸川河川事務所からの災害情報" (Disaster Information from the Edogawa River Office). It features a navigation menu on the right with links to "河川防災情報" (River Disaster Information), "事務所からのお知らせ" (Information from the Office), "入札・契約情報" (Bidding/Contract Information), "事務所の取り組み" (Office Activities), "川の利用案内" (River Usage Guide), "地域との連携" (Cooperation with the Community), and "川について知る" (Learn About the River). The main content area is divided into sections for "最新ののお知らせ" (Latest Information), "最新記者発表資料" (Latest Press Release Materials), and "注目情報" (Spotlight Information). The "最新ののお知らせ" section highlights the "体制解除" (Disaster Relief) for Typhoon No. 18 on October 7, 2024, at 8:10 AM. The "注目情報" section includes "首都圏外郭放水路" (Outer Ring Waterway) and "東北地方" (Tohoku Region). A detailed view of the "体制解除" section is shown below, detailing the timeline and actions taken by the office during the typhoon.

【風水害】平成26年10月 台風第18号

江戸川河川事務所は、平成26年10月6日4時50分に洪水対策支部を設置しました。(注意体制) 江戸川河川事務所管内の河川の状況は、次のリンク先をご参照ください。

- 江戸川河川事務所管内 水位観測所リアルタイムデータ
- 江戸川河川事務所管内 ライブカメラ映像(河川の状況)
- 河川水位と危険度レベル

体制解除

平成26年10月7日 8時10分

江戸川洪水対策支部は、管内すべての基準地点において水防団待機水位を下回り、今後、被害発生恐れが見込まれないため、平成26年10月7日8時10分に注意体制を解除し、支部を解散しました。

注意体制

平成26年10月6日 22時10分

中川 吉川水位観測所の水位は、6日22時00分現在358mです。
水防団待機水位を下回りましたので、吉川水防警報区の水防警報を【解除】します。

1410062210水防警報発令状況 [PDF:180 KB]

平成26年10月6日 21時30分

江戸川洪水対策支部は、中川吉川地点の水位が21時30分現在で3.60mであり、氾濫注意水位を下回る傾向にあることから、6日21時30分に「警戒体制」から「注意体制」に移行しました。

警戒体制

江戸川河川事務所HP「災害情報」

<http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/index.html>

http://www.ktr.mlit.go.jp/saigai/edogawa_dis00037.html

5. 管内浸水状況(内水)



※浸水状況に関しては、当事務所職員が確認出来たもののみ掲載しています。